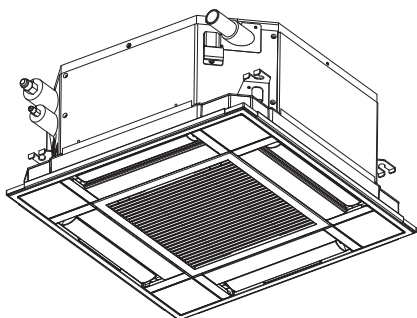


三菱電機フリープランシステム

室内ユニット

冷媒R410A対応

取扱説明書



PLFY-P·DMG3



形名

PLFY-P·DMG3

●お使いになる前に

安全のために必ずお守りください	2
各部のなまえ	4

●運転のしかた

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた	8
自動運転、換気運転のしかた	10
その他の表示・点滅について	12
タイマー、スケジュール、省エネ運転のしかた	13
タイマー運転のしかた	14
機能設定、初期設定のしかた	15
もっと知りたいとき	18
上手な使い方	19

●お手入れのしかた・困ったときに

「故障かな?」と思ったら	20
お手入れのしかた	22
長期間ご使用にならないとき	23
移設・工事について	24
保証とアフターサービス	25
ご相談窓口	26
仕様	27

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みにになり、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は「据付工事説明書」とともに大切に保管してください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書および保証書をお渡しください。
- お客様ご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。



This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

● お使いになる前に 安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

■ “図記号”の意味は次のとおりです。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

 禁止	 アース線接続
 指示を守る	 水濡れ禁止
 濡れ手禁止	

警告

長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。



濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。



お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気へ放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。



分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を！
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



エアコンおよびリモコンを水洗いしない

ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電や発火の原因になります。



水濡れ禁止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。



電源を切る

万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う

冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



換気

清掃およびメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る

ファンおよびファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。



電源を切る

パネルやガードを取外さない

機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。点検時以外は絶対に外さないでください。



分解禁止

注意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

粉じんなどにより機器の故障や発煙に至ることがあります。または健康を損なう原因にもなります。



禁止

直接風にあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。



設置禁止

室内ユニットの金属部にさわらない

フィルターを外したときにケガの原因になります。



禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。



設置禁止

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。品質低下の原因になります。



使用禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



設置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。



使用禁止

エアコンの近くで火気（調理器具など）を使用しない

熱により、エアコンが変形したり、発火する原因になります。



使用禁止

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。



禁止

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。



保護具着用

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。



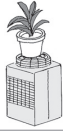
換気

安全のために必ずお守りください

注意

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になります。



禁止

エアコンの下方に食品や食器を置かない

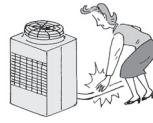
ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は充分ご注意ください。



禁止

運転中に冷媒配管に触れない

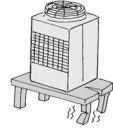
素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。



禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。



放置禁止

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



電源を切る

室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食・変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。



エアコン停止

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品および薬品から発生したガスを充分排気してから、エアコンを運転する

薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸い込んだりするとエアコンの腐食・変形の原因になります。



換気・送風運転

据付時 次の項目をご確認ください。

警告

据付や移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。



禁止

当社指定の冷媒（R410A）以外は絶対に封入しない。

- 法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。



禁止

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください（安全や機能の確保ができません）



据付け

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズ代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用回路

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電の原因になります。



漏電遮断機

使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



別売部品

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



設置場所

注意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・洩れのおそれのある場所へは据付けない

万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



設置禁止

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いので、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が洩れたときの処置）

万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行ってください。

その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

●次の場所への据付けは避けてください

- 可燃性ガスの洩れのおそれがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車輛・船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ
- 炎の近くや溶接時のスパッターなどの火の粉が飛び散るところ

アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

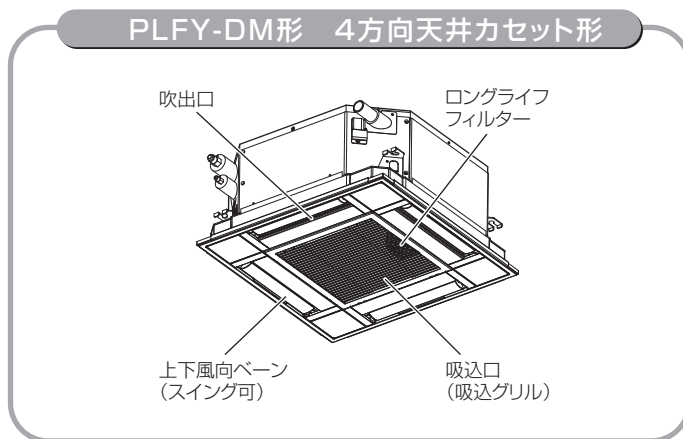
（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

安全のために必ずお守りください

● お使いになる前に 各部のなまえ

室内ユニット

		PLFY-DM形
風速		3速
上下風向調節	自動	○(4段階)
	スイング機能	○
左右風向調節		—
ロングライフフィルター		○
フィルタークリーニングサイン積算時間		2500時間
ワイヤレスリモコン機種設定機種No.	冷暖同時タイプ	002
	冷暖切換タイプ	226



各部のなまえ

- ※1 ワイヤレスリモコンをご使用する場合には、ワイヤレスリモコン側の機種設定を行ってください。
- ・室内ユニット形名と組合せ室外ユニットタイプ(冷暖同時／冷暖切換)をご確認頂き、上記表の機種No.を設定してください。
 - ・ワイヤレスリモコンの機種設定方法は、ワイヤレスリモコンの据付工事説明書をご確認ください。

● お使いになる前に 各部のなまえ

ワイヤードリモコン(別売部品)

MAスマートリモコン

ご使用にあたっては、以下の点をご承知おきください。

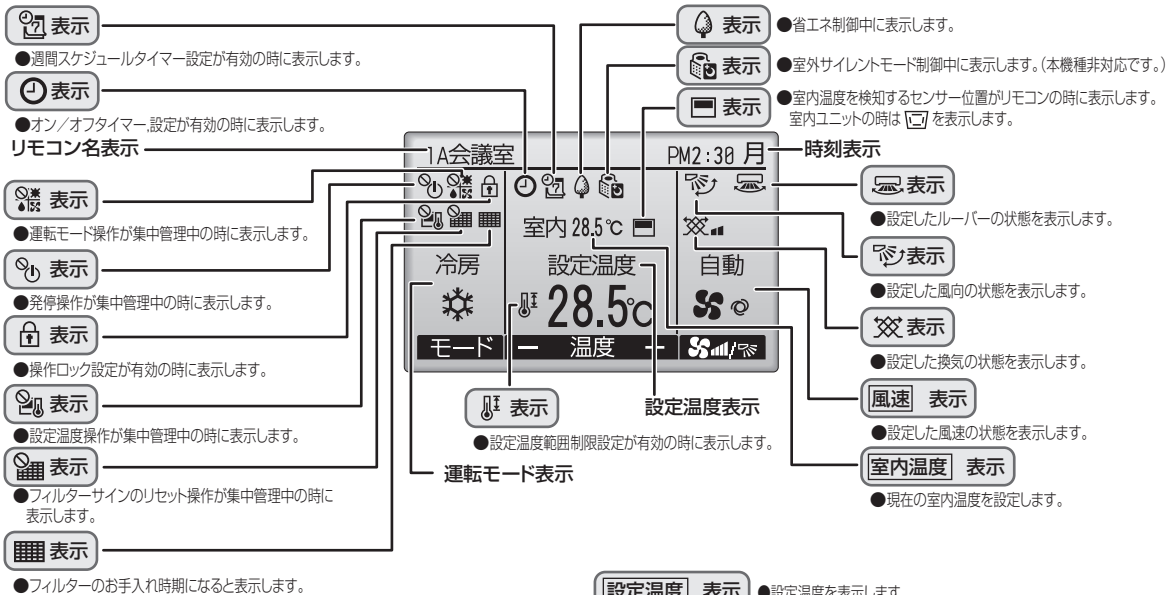
- 本機種では、ハイパワー運転、室外サイレントモード設定、省エネ運転スケジュール、CO₂排出量表示は使用できません。

表示部

■説明のためすべての表示内容を示しています。
 ■メイン画面の表示には「詳細画面」と「簡易画面」の2種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。

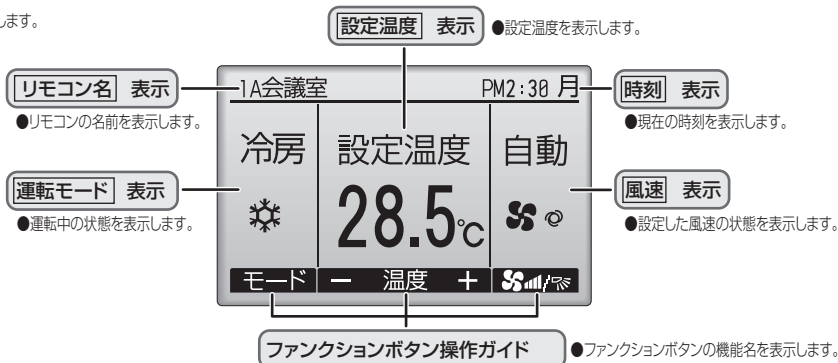
詳細画面

(メイン画面)



簡易画面

(メイン画面)



操作部

ファンクションボタン

ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

メイン画面

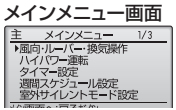


- F1ボタン**
 ●メイン画面: 運転モードを切替えます。
 ●メインメニュー画面: カーソルが下に移動します。

- F2ボタン**
 ●メイン画面: 設定温度を下げます。
 ●メインメニュー画面: カーソルが上に移動します。

- F3ボタン**
 ●メイン画面: 設定温度を上げます。
 ●メインメニュー画面: 前のページを表示します。

- F4ボタン**
 ●メイン画面: 風量を切替えます。
 ●メインメニュー画面: 次のページを表示します。



- メニューボタン**
 ●メインメニューを表示します。

- 戻るボタン**
 ●前の画面に戻ります。

- 決定ボタン**
 ●設定の決定をします。

液晶表示部(バックライト付)

- 運転内容を表示します。いずれかのボタンを押すとバックライトが30秒間点灯します。点灯中にボタンを操作すると点灯時間が延長されます。

運転ランプ

- 運転中、緑色に点灯します。立上げ時、異常時は点滅します。

運転/停止ボタン

- 1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

- バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。(運転/停止ボタンは除く)
- 基本運転(運転/停止、運転モード切替、風量調節、温度設定)以外はメニュー画面からの設定となります。
- ご使用になる場合は、リモコンに付属されている取扱説明書/据付工事説明書を参照してください。

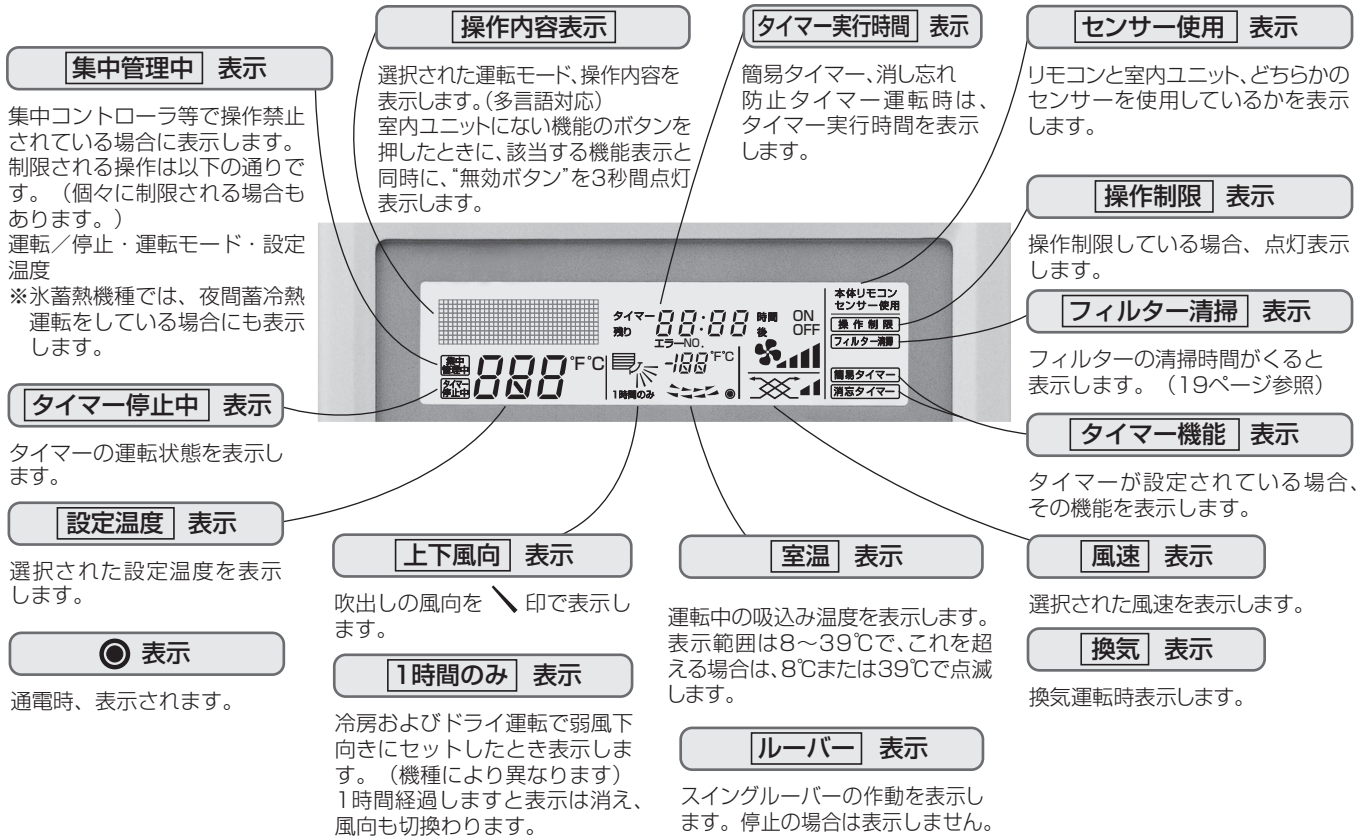
● お使いになる前に 各部のなまえ

■ MAスムーズリモコン

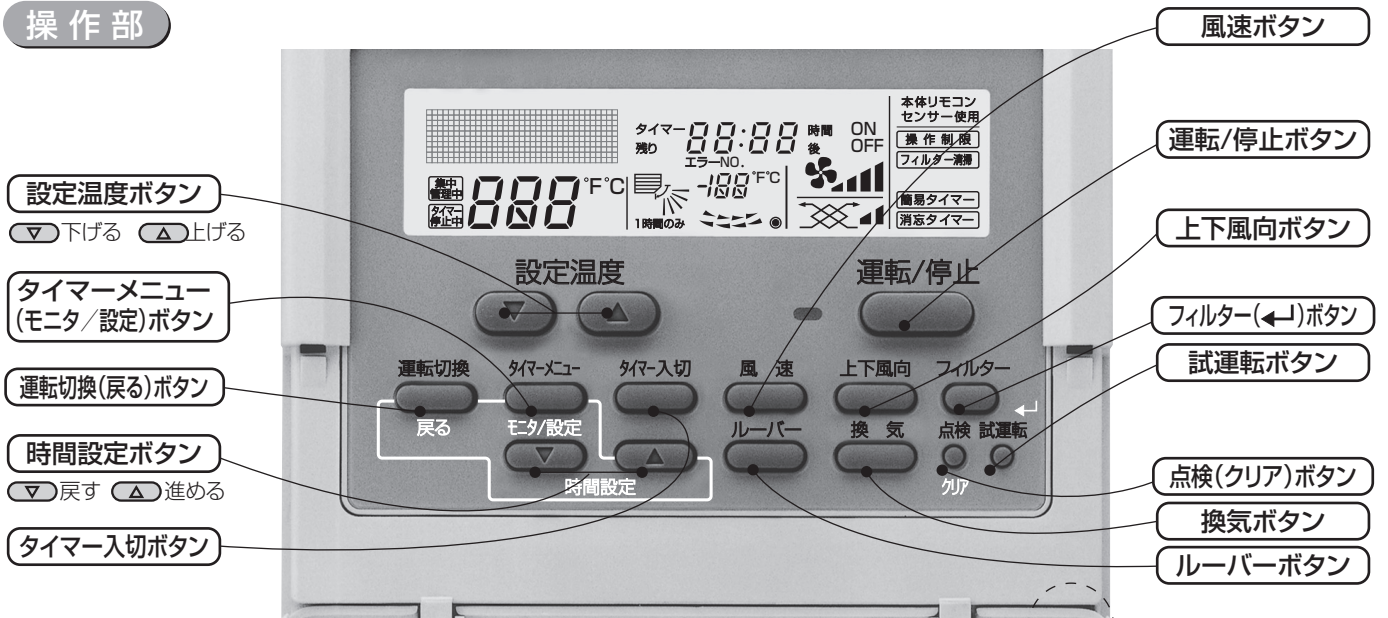
表示部

■操作部、表示部はMAスムーズリモコンに記載しています。(説明のためすべての表示内容を示しています。)

各部のなまえ



操作部



■“PLEASE WAIT”表示(初期設定中)

電源を入れたときと停電から復帰したとき、約3分間表示します。

■運転モードの点滅表示

同一の室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転をしている場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。

■“無効ボタン”表示

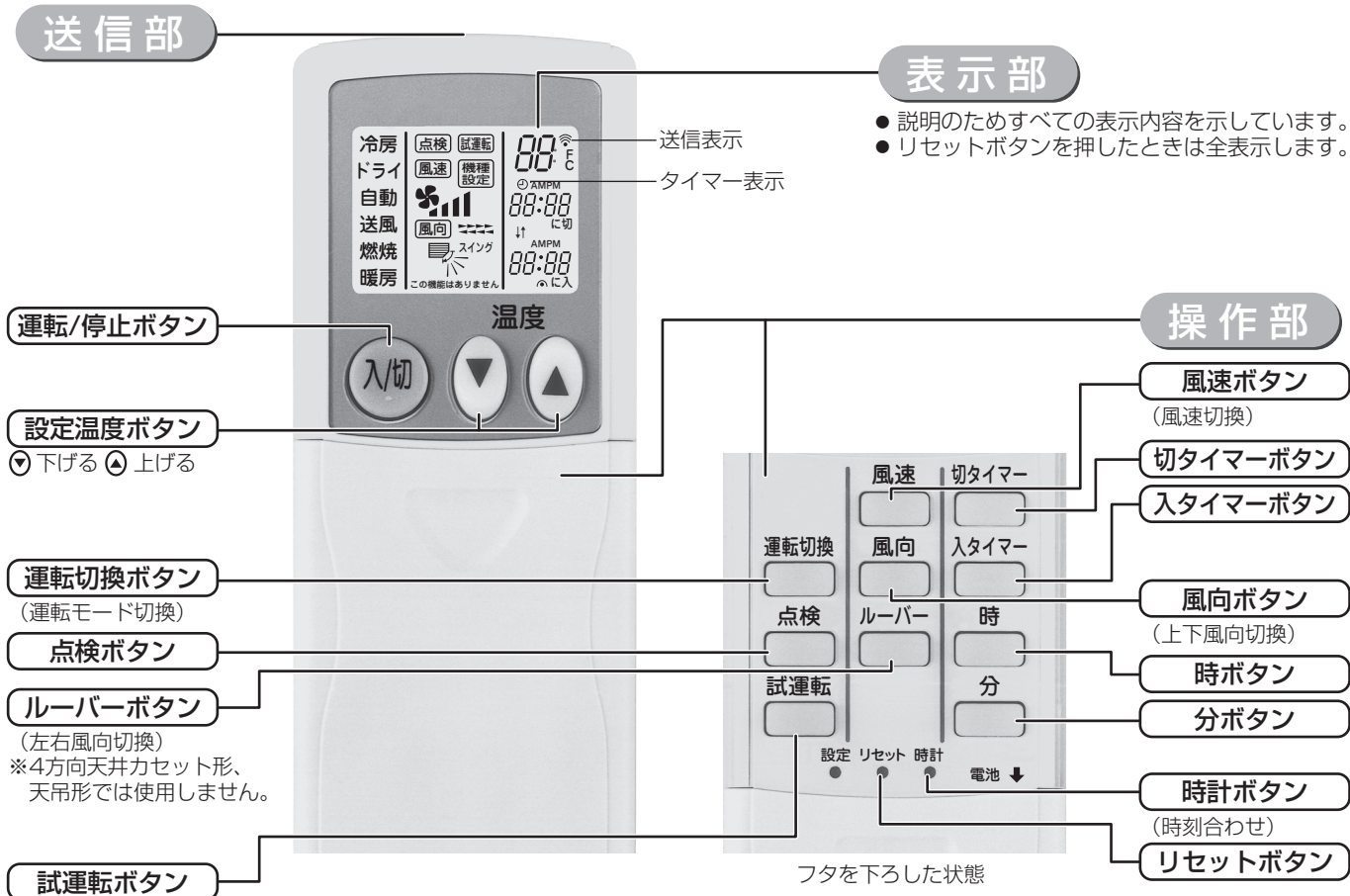
複数台の室内ユニットを同一のリモコンで操作している場合は、代表室内ユニット(親機)に装備していない機能を実行した場合は表示されます。

■室温表示

本体の室温センサを使用時で複数台の室内ユニットを操作されている場合のリモコンへの表示は、代表室内ユニット(親機)の内容が表示されません。室温センサ位置は、“本体”と“リモコン”が選択でき、初期設定は、“本体”となっています。

● お使いになる前に 各部のなまえ

■ ワイヤレスリモコン

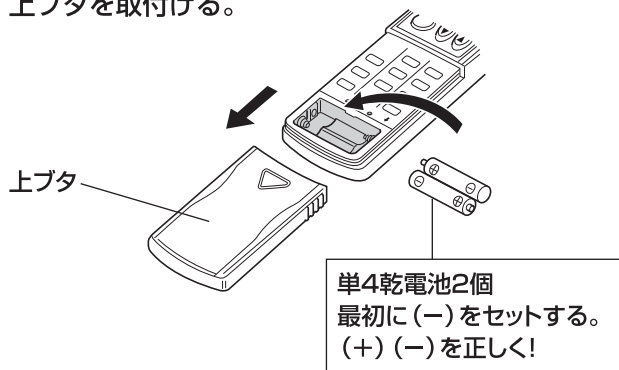


- リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。
- 電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピッピッ”と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約2分間お待ちください。
- リモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。
- 受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買上げの販売店へご連絡ください。

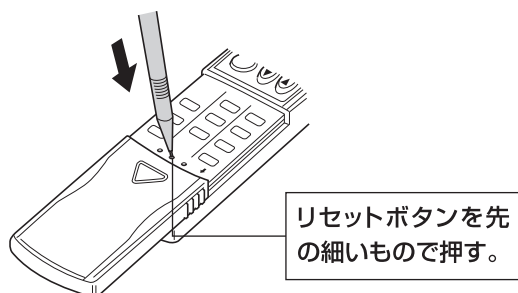
- リモコンの取扱いは大切に！落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。
- 紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

電池を入れる／交換の方法

- 1 上ボタンを引き抜き、単4乾電池2個を入れて上ボタンを取付ける。



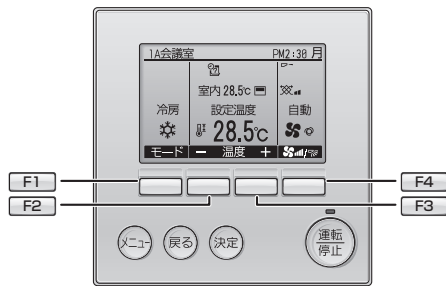
- 2 リセットボタンを押す。



● 運転のしかた

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

運転開始の前に… 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。



運転モード表示

 冷房 ドライ 送風 暖房



運転の開始、運転モードを選ぶとき

MAスマートリモコンの場合

ボタンを押す。
 運転ランプと表示が点灯します。
F1 ボタンを押す。

● 1回押すごとに設定が切りかわります。

冷房 → ドライ → 送風 → 自動 → 暖房
※2 ※1

※1 室外ユニットの機種により自動、暖房機能がない場合があります。
 リモコンの機能選択(15,16ページ参照)で自動モード使用無し設定の場合は表示されません。
 ※2 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
 ※3 換気装置が連動されている場合、すべての運転モードで連動しています。

ワイヤレスリモコンの場合

ボタンを押す。
 表示が点灯します。
運転切換 ボタンを押す。

冷房 → ドライ → 自動 → 送風 → 暖房

⚠️ 注意

冷暖切換機種の場合、冷房運転後に暖房運転すると同一系統の停止している室内ユニット※が結露する場合があります。その時は、同一系統の全ての室内ユニットを暖房運転または送風運転させた後でご使用ください。

設定温度を変えたいとき

MAスマートリモコンの場合

室温を下げたいとき **F2** ボタンを押す。

室温を上げたいとき **F3** ボタンを押す。

- 1回押すごとに設定温度をMAスマートリモコンの場合は0.5℃、ワイヤレスリモコンの場合は1℃単位で変えられます。MAスマートリモコンでは設定温度単位を変更することが可能です。くわしくはMAスマートリモコンの取扱説明書をご覧ください。
- 設定温度範囲は次の通りです。

※設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。(設定温度範囲制限中は が表示されます。)範囲を超えて設定しようとした場合、“設定温度制限中”が点滅表示され、制限中であることが表示されます。くわしくは、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

冷房・ドライ運転	暖房運転	送風
19~30℃	17~28℃	設定できません

ワイヤレスリモコンの場合

ボタンを押す。

ボタンを押す。

風速を変えたいとき

MAスマートリモコンの場合

F4 ボタンを押す。

● 1回押すごとに設定が切りかわります。

ワイヤレスリモコンの場合

風速 ボタンを押す。

※1 ワイヤレスリモコンで風速自動にする場合は、リモコンの設定が必要になります。設定方法は風速自動設定方法(9ページ)を参照願います。

	風速	MAスマートリモコンの場合	ワイヤレスリモコンの場合
PLFY-DM形	3段階	(弱) (中) (強) 	(弱) (中) (強)

お知らせ

■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。

- “暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
- 暖房運転直後(モード切換待機中)
- ドライモードのとき

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

上下風向を変えたいとき

MAスマートリモコンの場合

- **F4** ボタンの長押し(1秒以上)操作、または本操作により風向操作画面を表示させ、上下風向を設定します。

- 1** **メニュー** ボタンを押す。
- 2** **決定** ボタンを押す。
(「風向・ルーバー・換気操作」を選択している状態で)
- 3** **F1** **F2** ボタンを押す。



- 1回押しごとに設定が切り替わります。注) 角度は風向の目安です。(ベーン角度ではありません。)



ワイヤレスリモコンの場合

- **風向** ボタンを押す。

● 上下風向ベーンの運転・設定内容

運転モード	風速	設定				
		設定1	設定2	設定3	設定4	
暖房・送風	強・中・弱	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4
冷房	強		設定1	設定2*	設定3*	設定4*
ドライ	中・弱	スイング	設定1	設定2*	設定3*	設定4*
	設定不可		※ 1 時間 設定 有効			
運転モードを変更した時の上下風向設定		—	冷房・ドライ・送風運転	—	—	暖房運転

※ 1時間経過すると自動的に水平吹出し(設定1)にもどります。

運転モード変更時のマイコン自動設定
(スイング設定のときは継続します)

- 冷房・送風・ドライモードにしたとき…設定1
- 暖房モードにしたとき……………設定4

お知らせ

- このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
 - “暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき
 - 暖房運転直後(モード切替待機中)
 - 暖房モードで設定温度より室温が高いとき

運転を停止するとき

MAスマートリモコンの場合

- **運転停止** ボタンを押す。

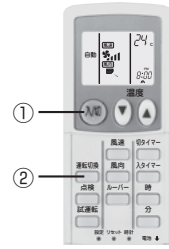
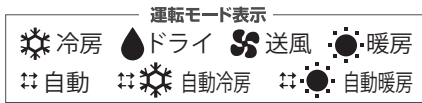
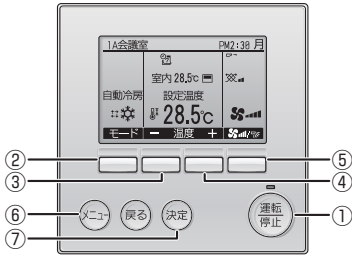
ワイヤレスリモコンの場合

- **入/切** ボタンを押す。

⚠ 注意

運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因となることがあります。

※ オプションの加湿器を取付けている場合、内部のしめりを防止するため、停止中でも上下風向ベーンを開くことがあります。



自動運転を行うとき

MAスマートリモコンの場合

- 1 ボタン①を押す。
- 2 ボタン②を押す。



F1 表示を自動にする。

ワイヤレスリモコンの場合



運転切換 表示を 自動 にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。
(18ページ参照)

※運転モードが確定した後に、現在の運転モード [自動冷房]、[自動暖房] が表示されます。
尚、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示:しない」に設定変更されている場合には、「冷房」、「暖房」は表示されません。([自動] の表示のみ)
(リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照してください。)

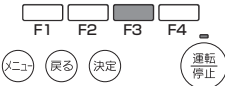
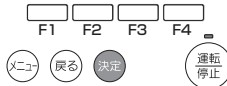
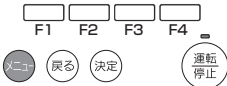
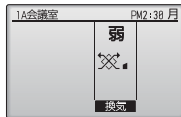
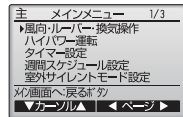
換気運転を行うとき

MA スマートリモコンの場合

- 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき **運転停止** ボタン①を押す。
●室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

- 換気装置を単独で運転するとき

- 1 ボタン⑥を押す。
- 2 ボタン⑦を押す。
(「風向・ルーバー・換気操作」を選択している状態で)
- 3 ボタン④を押す。



- 換気運転の風速を変えたいとき
F3 ボタン④を押す。

お知らせ

■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

ワイヤレスリモコンの場合

- 換気装置が連動接続している場合はエアコンが運転を開始すると自動的に換気も運転します。
- リモコンには表示されません。
- 換気装置の単独運転はできません。

● 運転のしかた 自動運転、換気運転のしかた

自動運転とは

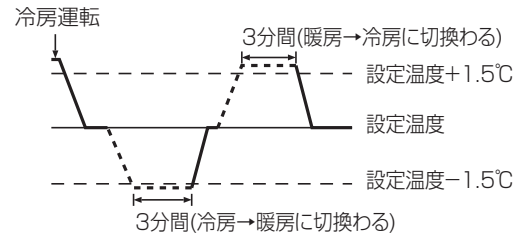
自動運転には、シングルオートモードとデュアルオートモードがあります(リモコン表示は、両モードとも「自動」です)。
※室外ユニットや室内ユニットの機種により、自動機能がない場合があります。

●シングルオートモード

シングルオートモードでは、冷房・暖房の設定温度を共通設定とし、設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。

自動運転中に室温が変化し設定温度より 1.5°C 以上高くなり、その状態が3分以上続くと冷房運転に切り替わります。

また、 1.5°C 以上低くなり、その状態が3分以上続くと暖房運転に切り替わります。

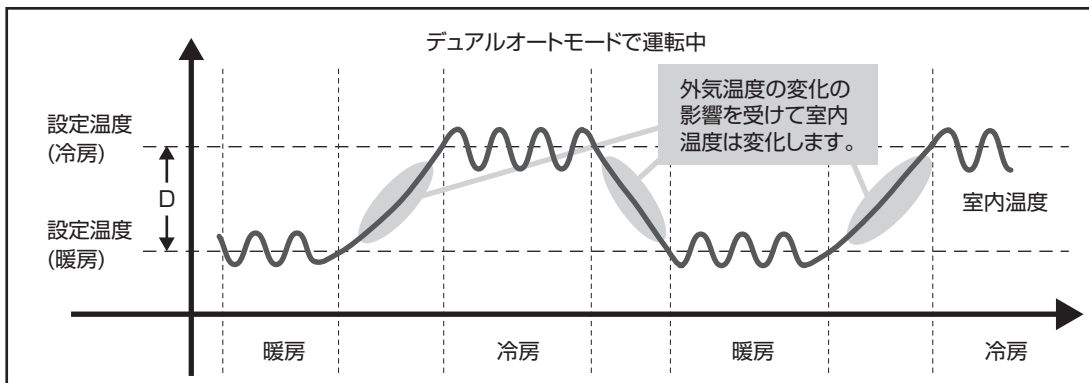


●デュアルオートモード

デュアルオートモードでは、2値(冷房・暖房)の温度を設定でき、デュアルオートモード運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切り替え、2つの設定温度内に室内温度を維持します。

デュアルオートモードで設定された冷房と暖房の設定温度は冷房/ドライ、暖房モードそれぞれ設定温度の設定に反映されます。

下図はデュアルオートモードで動作中のユニット動作パターンを示します。

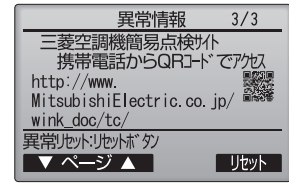
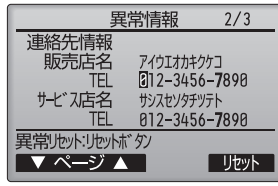
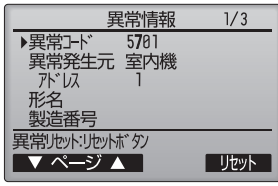


※冷房設定温度と暖房設定温度の差(D)の最小値は、接続する室内ユニットにより異なります。

※リモコンや室内ユニットの機種により、デュアルオートモード機能がない場合があります。

● 運転のしかた その他の表示・点滅について

- 「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合は空調機に障害が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。異常内容をご確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申し付けください。



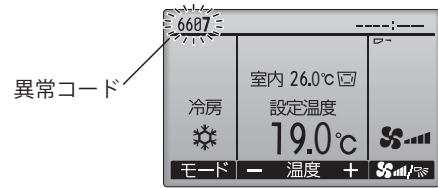
連絡先情報はあらかじめ入力されている場合にのみ表示されます。

携帯電話点検コード検索サービスサイトのQRコードとURLが表示されます。

異常コード、異常発生元、M-NETアドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合にのみ表示されます。

[F1] [F2] ボタンで次のページを表示します。

- 「異常コード」のみが点滅している場合（運転ランプは点灯したまま）空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。異常コードをご確認の上、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申し付けください。

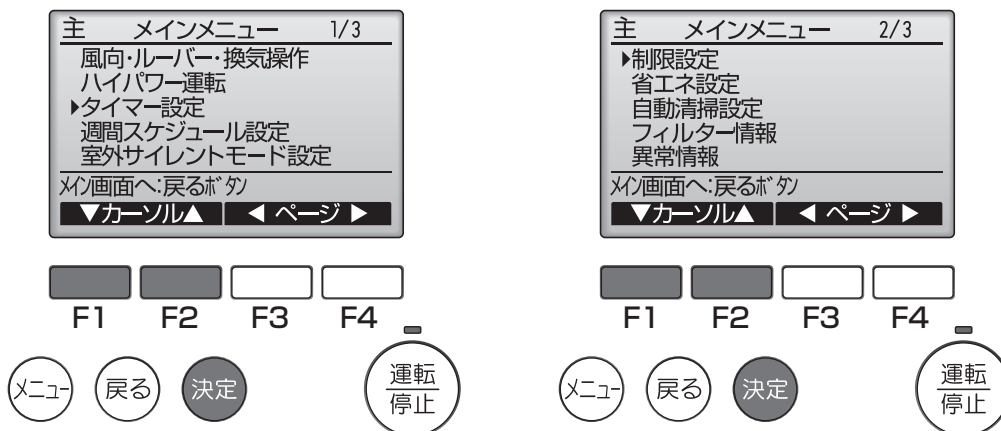


● 運転のしかた タイマー、スケジュール、省エネ運転のしかた(MAスマートリモコンの場合)

MAスマートリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転、省エネ運転の設定ができます。MAスマートリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、**F1** **F2** ボタンで設定したい項目を選択します。

詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

※ハイパワー運転、室外サイレントモード設定、省エネ運転スケジュールは、本機種非対応のため使用できません。



タイマー運転

■ オン/オフタイマー

運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。

■ 消忘れ防止タイマー

運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

週間スケジュール運転

1週間の運転/停止時刻と設定温度が設定できます。

1日最大8パターンの設定ができます。

省エネ運転

■ 設定温度自動復帰

設定時間後に、設定した温度に戻します。

設定時間は10分単位で30分から120分の範囲で設定できます。

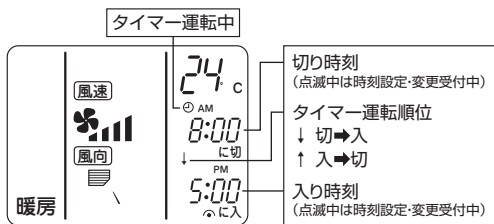
タイマー運転はワイヤレスリモコンでも設定できます。「タイマー運転のしかた (ワイヤレスリモコンの場合)」の項をご確認ください。週間スケジュール運転、省エネ運転は、ワイヤレスリモコンでは設定できません。

タイマー、スケジュール、省エネ運転のしかた

● 運転のしかた タイマー運転のしかた (ワイヤレスリモコンの場合)

タイマー運転の設定は、ワイヤレスリモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから“ピッ”と音のすることを確認しながら行ってください。

- タイマー運転には次の3つの方法があります。
 - **入タイマー運転** 運転の開始のみをタイマーで行う。
 - **切タイマー運転** 運転の停止のみをタイマーで行う。
 - **入切タイマー運転** 運転・停止の両方をタイマーで行う。
- タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
- タイマー時刻設定は、10分単位です。



現在時刻の設定を行うとき

- 1 **入切** ボタンを押す。リモコンに表示がでます。
 - 2 時計ボタンを押す。現在時刻が点滅します。
 - 3 **時** ボタン・**分** ボタンを押し、現在時刻を合わせる。(電池を入れて最初に現在時刻を合わせる時はここから操作してください。)
 - 4 時計ボタンをもう1回押す。現在時刻が点灯します。(現在時刻合わせの設定完了です。)
- 設定中に現在時刻が点滅から点灯に変わった時には手順 2 からやり直してください。

入タイマー運転を行うとき

- 1 **入切** ボタンを押す。リモコンに表示がでます。
- 2 **入タイマー** ボタンを押す。現在時刻が消灯し、入り時刻と **入** が点灯します。“入”表示が点滅します。
- 3 **時** ボタン・**分** ボタンを押し、入り時刻を合わせる。
 - 入タイマー時刻設定後“入”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、入タイマー設定が完了します。
 - エアコンの運転は自動的に停止し、**入り時刻**まで待ちます。
 - 設定中に“入”表示が点滅から点灯に変わった時には**入タイマー** ボタンを押した後、手順 2 からやり直してください。

切タイマー運転を行うとき

- 1 **入切** ボタンを押す。リモコンに表示がでます。
- 2 **切タイマー** ボタンを押す。現在時刻が消灯し、切り時刻と **切** が点灯します。“切”表示が点滅します。
- 3 **時** ボタン・**分** ボタンを押し、切り時刻を合わせる。
 - 切タイマー時刻設定後“切”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、切タイマー設定が完了します。
 - 設定中に“切”表示が点滅から点灯に変わった時には**切タイマー** ボタンを押した後、手順 2 からやり直してください。

入切タイマー運転を行うとき

- 1 入タイマー・切タイマー両方の設定をする。
 - ↑ ↓ 表示は ↑ または ↓ どちらかが表示され、
 - ↑ は、停止 → 運転(入り時刻) → 停止(切り時刻)
 - ↓ は、運転 → 停止(切り時刻) → 運転(入り時刻)を表します。

タイマー運転を解除するとき

- 入タイマー運転を解除するとき **入タイマー** ボタンを押す。 ● 入り時刻が消灯し、入タイマーは解除されます。
- 切タイマー運転を解除するとき **切タイマー** ボタンを押す。 ● 切り時刻が消灯し、切タイマーは解除されます。
- 入切タイマー運転を解除するとき **入タイマー** ボタンと **切タイマー** ボタンを押す。 ● 入り時刻と切り時刻が消灯し、タイマーは解除されます。
- タイマー運転を解除し、エアコンを停止するとき **入切** ボタンを押す。 ● エアコンは停止します。同時に、設定されていたタイマー運転も解除されます。

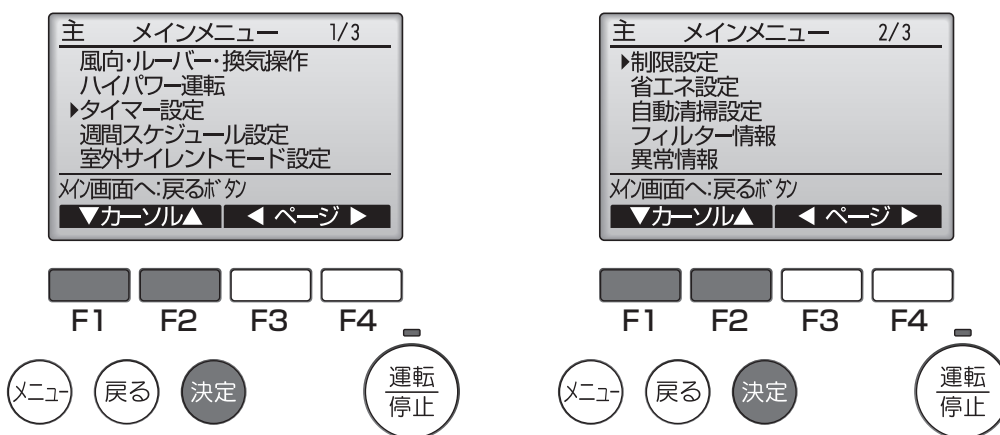
お知らせ

■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

● 運転のしかた 機能設定、初期設定のしかた (MAスマートリモコンの場合)

MAスマートリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転、省エネ運転などの機能設定や初期設定ができます。設定メニューについては、下表を参照ください。

MAスマートリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、**F1** **F2** ボタンで設定したい項目を選択します。各運転の詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書をご確認ください。



メインメニュー一覧

設定および表示項目	内容
風向・ルーバー・換気設定	風向：風向を設定します。 ■風向固定位置を 4～5 段階で設定します。 ルーバー：ルーバーの ON/OFF を設定します。 ■「切」「入」から設定します。 換気：換気量を設定します。 ■「停止」「弱」「強」から設定します。
タイマー設定	オン / オフタイマー 運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ※時刻設定が必要です。
	消忘れ防止タイマー 運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ■設定時間は 10 分単位で 30～240 分まで選択可能です。
週間スケジュール設定	1 週間の運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ※時刻設定が必要です。 ※オン / オフタイマー有効中は動作しません。
制限設定	設定温度範囲制限 設定温度の範囲を制限します。 ■運転モードによる温度範囲の制限が可能です。
	操作ロック 指定した操作をロックします。 ■操作ロック中は指定した操作が無効となります。
省エネ設定	設定温度自動復帰 設定時間後に設定した温度に戻ります。 ■設定時間は 10 分単位で 30～120 分まで選択可能です。 ※設定温度範囲制限が有効の時は機能しません。
自動清掃設定	自動清掃実行内容を設定します。 ■自動的にフィルター掃除を実施するよう設定します。 ■清掃動作を時間指定、または常時実行するよう設定できます。 ※時刻設定が必要です。
フィルター情報	フィルターサイン発生状況を表示します。 ■フィルターサインの解除を行います。
異常情報	ユニットに異常が発生した時、異常内容を表示します。 ■異常コード、異常発生元、冷媒アドレス、形名、製造番号、連絡先情報 (販売店名、サービス店名、電話番号) を表示します。 ※形名以降はあらかじめ入力が必要です。 ■携帯電話点検コード検索サービスサイトの URL と QR コードを表示します。
メンテナンス	自動昇降パネル操作 自動昇降パネル (別売) の昇降操作ができます。
	自動清掃操作 自動清掃の強制運転を行います。
	風向固定操作 ペーンごとに風向の固定設定をします。

● 運転のしかた 機能設定、初期設定のしかた (MAスマートリモコンの場合)

機能設定、初期設定のしかた

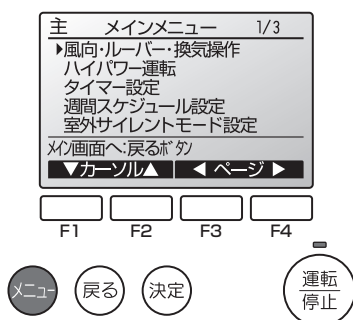
設定および表示項目	内容	
初期設定	主従設定	1 グループに 2 台のリモコンを使用する場合に主従の設定を行います。
	リモコン名称設定	メイン画面に表示されるリモコン名称の設定を行います。
	時刻設定	現在の時刻を設定します。
	メイン画面表示設定	メイン画面の詳細表示と簡易表示の切り換えを行います。 ■工場出荷時：詳細表示
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。
	リモコン表示設定	リモコンの表示設定を行います。 ■時刻表示：「する」「しない」、「12 時間」「24 時間」表示から設定します。 ■温度単位表示：摂氏表示「°C」、華氏表示「°F」から設定します。 ■吸込み温度表示：表示、非表示を設定します。 ■自動冷暖表示：自動冷暖の表示・自動のみ表示を設定します。
	自動モード設定	運転モード選択時に自動モード使用、不使用を設定します。
	管理者パスワード登録	以下の設定に必要な「管理者用パスワード」を登録します。 タイマー設定・週間スケジュール設定・制限設定・省エネ設定・自動清掃設定
サービス	試運転メニュー	試運転・ドレンポンプの試運転操作を行います。
	サービス情報登録メニュー	異常発生時、異常画面に表示する形名・製造番号・販売店名やサービス店名・連絡先を登録することができます。
	機能選択	必要に応じて、各ユニットの機能を設定します。
	点検	異常履歴：異常履歴を表示、履歴消去を行います。
	自己診断	リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。
	サービス用パスワード登録	サービスメニュー操作時に必要なパスワードを登録します。
	リモコン機能設定	冷媒アドレス・号機を指定する画面で、実施に接続されている室内ユニットのアドレス・号機が表示されないときに使用します。
	リモコン診断	リモコンの診断を行います。
リモコン設定初期化	リモコンを出荷状態に戻します。	
Q&A	代表的なトラブルシューティングなどが表示されます。	

※室内ユニットによっては、機能に対応していない場合があります。

メインメニュー画面での操作のしかた

画面表示

|| メインメニューを表示します。

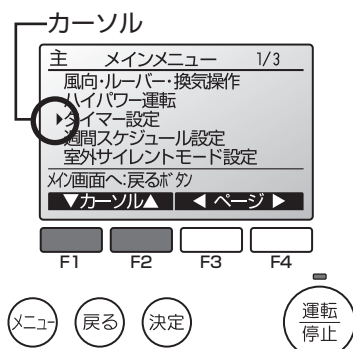


メニュー ボタンを押します。

メインメニュー画面が表示されます。

項目選択

|| カーソルを移動させ、設定したい項目を選択します。



F1 ボタンでカーソルが下がります。

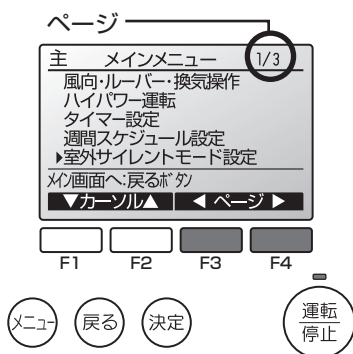
F2 ボタンでカーソルが上がります。

● 運転のしかた 機能設定、初期設定のしかた (MAスマートリモコンの場合)

メインメニュー画面での操作のしかた

ページ移動

|| 各メニューのページを移動します。

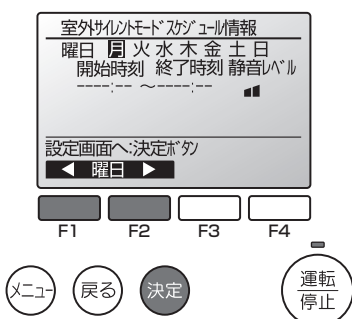


F3 ボタンで前のページを表示します。

F4 ボタンで次のページを表示します。

決定

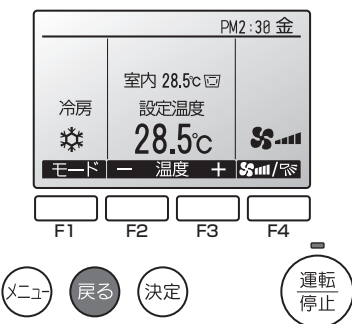
|| カーソルで選択した項目を決定します。



ご希望の項目を選択し、**決定** ボタンを押します。

選択した設定画面が表示されます。

戻る

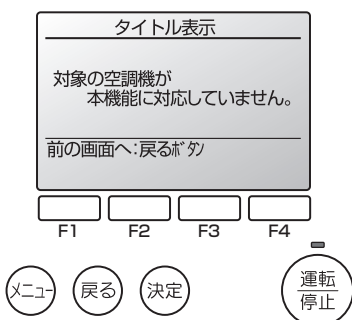


メインメニュー画面からメイン画面に戻るには

戻る ボタンを押します。

各項目の設定途中で約 10 分間ボタン操作がない場合、自動でメイン画面に戻ります。このとき設定途中の内容は無効となります。

機能未対応



メニュー項目の選択操作を行った時、対象の室内ユニットが機能に対応していない場合、左記メッセージ画面を表示します。

● 運転のしかた もっと知りたいとき

ドライ運転とは

- フリープランシステムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転(ドライ運転)を行います。
- 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
- 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切り替えが行われ、リモコンでは設定できません。
- 運転モード



室温	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間 (分)	圧縮機停止時間 (分)
	温調信号	室温		
18℃を超える	ON	28℃以上	9	3
		26~27℃	7	3
		24~25℃	5	3
		23℃以下	3	3
18℃以下	OFF	無条件	3	10
	圧縮機運転禁止			

1. お好みの室温になるまで…
室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転-停止を繰り返します。
2. お好みの温度になると…
圧縮機・室内ファンとも停止します。10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

温調信号ON 室温が設定温度より高い場合
温調信号OFF 室温が設定温度より低い場合

暖房運転について

- 暖房開始時に風が弱い: 吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り替わります。その間ワイヤードリモコンには“暖房準備中”と表示されます。
- 風速が設定どおりにならない: 室温が設定温度となり、風速は微風となります。
- 風が出ない: ワイヤードリモコンに“霜取中”表示中は風を出しません。
- 運転を停止しても風が出る: 運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわる事があります。

上下風向について(リモコン設定)

- 冷房ドライ運転時、下吹出しに設定しますと、1時間経過後、自動的に水平吹出しに戻ることがあります。これは上下風向ベーンや吹出し口周辺などに露つき、露たれが生じたり、露飛びを防止するためです。繰り返しで使用されて、露つきなどが発生した場合は、水平吹出しに戻してください。(8ページ参照)
- ドラフト感防止モード(据付工事説明書13ページ参照)設定で冷房ドライ運転時、水平吹き出しに設定しますと、運転状況により自動的に吹き出し角度が一時的に下がることがあります。(これはT-BARや天井材への結露を防止するためです。)

換気連動運転とは

- 室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

使用温度範囲

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、機器が異常停止したり、重大な事故の原因となることがあります。

		室内	天井内	室外
冷房ドライ	乾球温度	—	~30℃※	-5℃~43℃
	湿球温度	15℃~24℃	~RH80%	—
暖房	乾球温度	15℃~28℃	—	—
	湿球温度	—	—	-20℃~15.5℃
自動	乾球温度	冷房ドライ/ 暖房と同じ	—	-5℃~20℃
	湿球温度	—	—	-5℃~15.5℃
送風換気	乾球温度	—	—	—

1. 室内外共に使用可能な湿度の目安は、相対湿度30~80%です。
2. 室外ユニットの使用温度範囲は、室外ユニットにより上表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書などでご確認ください。
3. 自動運転の運転可能範囲外のサーモON時、送風運転になる場合があります。

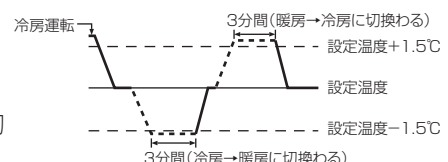
※ドラフト感防止モード(据付工事説明書13ページ参照)を設定する場合は、天井内温度の使用可能範囲は27℃以下です。(27℃、RH80%を越えると、露たれ、故障等の原因となります。)

霜取中とは

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約10分程度(最大15分)で終わります。
- 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

自動運転とは

- 設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
- 自動運転中に室温が変化し設定温度より1.5℃以上高くなり、その状態が3分続くと冷房運転に切り替わります。また、1.5℃以上低くなり、その状態が3分続くと暖房運転に切り替わります。



● 運転のしかた 上手な使い方

上手な使い方—“フリープランシステム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

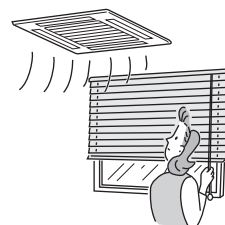
室内温度(室温)は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
- たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また、露付・露たれの原因にもなります。
- ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。(23ページ)



中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60~70%、冬では55~70%程度といわれています。
- ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感ずることがあります。ドライ運転をご利用ください。



室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重たいので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。



ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社「ロスナイ換気扇」を利用しますとムダのない換気ができます。



Q 故障かな?

A お答えします(故障ではありません)

Q よく冷えない。よく暖まらない。

A

- フィルターの清掃をしてください。(フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです)
- 温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
- 室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。
室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか?
- 窓やドアが開いていませんか?

Q 暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。

A ■ 十分に暖かな風をおとどけするため準備中です。

Q 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

A ■ 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

Q 風向が途中で変わる、風向が設定できない。

A

- 冷房運転中、下吹出し(水平吹出し)で使用しますとベーンが自動的に1時間後に水平吹出し(下吹出し)になります。これは水滴が滴下するのを防ぐためです。
- 暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。
- ドラフト感防止モード(据付工事説明書13ページ参照)設定で、冷房運転中、水平吹き出しで使用しますと、自動的に吹き出し角度が下がることがあります。

Q 風向を変化させたときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。

A ■ 風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。

Q 水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

A ■ エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。

Q “ピシッ、ピシッ”という音がする。

A ■ 温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。

Q 部屋がにおう。

A ■ エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、または衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。

Q 室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。

A


- 室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
- 霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

Q 室外ユニットより水・水蒸気が出る

A

- 冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。
- 暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
- 霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。

Q リモコンの運転表示が点灯しない

A ■ 電源開閉器を入れてください。
表示部に“”が表示されます。

Q 運転ボタンを押したのに運転しない。
点灯したリモコンの運転表示が消える。

A ■ 室内ユニットの電源開閉器が切れていませんか?
電源開閉器を入れてください。

Q リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。

A ■ “集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。

Q 故障かな? **A** お答えします(故障ではありません)

Q 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

A ■約3分間お待ちください。
(エアコンを保護するため、止まっています)

Q 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

A ■入タイマー運転をしていませんか?
運転・停止ボタンを押して停止してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか?
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■“集中管理中”の表示が点灯していませんか?
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■停電自動復帰を設定していませんか?
運転・停止ボタンを押して停止してください。

Q 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

A ■切タイマー運転をしていませんか?
運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか?
停止を指示したところへ連絡・確認してください。
■“集中管理中”の表示が点灯していませんか?
停止を指示したところへ連絡・確認してください。

Q リモコンのタイマー運転がセットできない。

A ■タイマー設定が無効になっていませんか?
リモコンのタイマー設定を確認してください。

Q リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。

A ■初期設定(約3分)を行っているためです。

Q リモコンにエラーコードが表示される。

A ■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

Q 排水音やモータの回転音がする。

A ■冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止するためです。3分間お待ちください。

Q 騒音が仕様値よりも高い。

A ■室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的につぎに示します値程高くなります。

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室等	応接室、ホテルロビー等	オフィス、ビジネスホテル
騒音アップ値	3~7dB	6~10dB	9~13dB

Q ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。

A ■乾電池が消耗しています。
乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。
※新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方(+、-)を再度確認してください。

Q ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する。

A ■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では、絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名を連絡してください。

Q 暖房サーモOFF時および送風運転時に断続的に温風が出る。

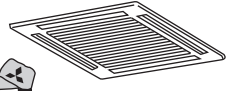
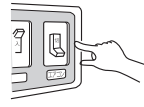
A ■他の室内ユニットが暖房運転をしている場合、システムの安定性を守るために、制御弁を時々開閉するためです。
しばらくすると止まります。※小部屋等で室温が上昇して困る場合は、運転を停止してください。

「故障かな?」と思ったら

● お手入れのしかた・困ったときに

お手入れのしかた

お手入れのまえに ■必ず、電源を「切」にしてください。



室内ユニット、リモコンの清掃

- やわらかい布でから拭きをしてください。
- 上下風向ペーンは手で強く引っ張ったり押ししたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
また、リモコンケースは取外さないでください。
- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤(食器用または洗濯用)を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

フィルターの清掃

⚠注意 必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

⚠注意 フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因になります。

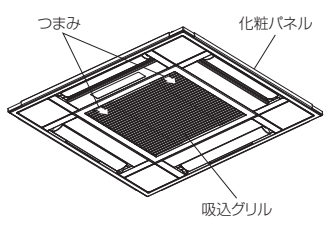
⚠注意 フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行う時は、転倒しないように注意してください。

お手入れのしかた

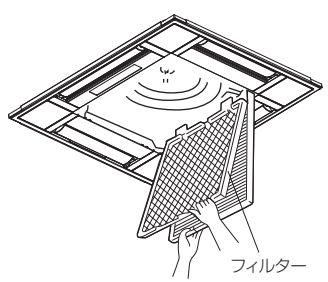
1 フィルターを取外す。

PLFY-DM形

① 吸込グリルのつまみを矢印の方向へ引くと、吸込グリルが開きます。

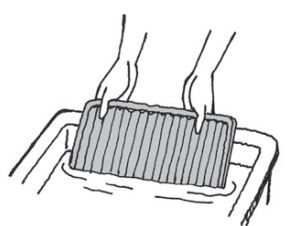


② 吸込グリル端面中央のつまみ部を倒し、フィルターを手前に引くと、フィルターが外れます。



2 フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
- 熱い湯(約50℃以上)で洗わないでください。変形することがあります。



3 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。


- フィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさなでください。

4 フィルターを元の状態に取付ける。(取外しの逆の手順)

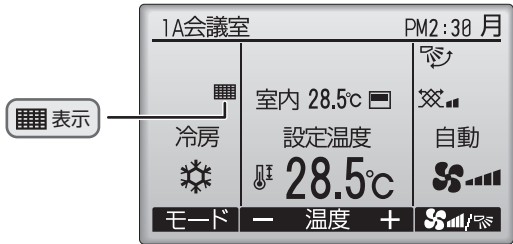
● お手入れのしかた・困ったときに

お手入れのしかた

フィルター清掃時期

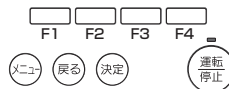
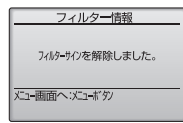
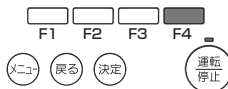
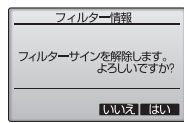
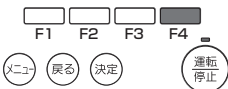
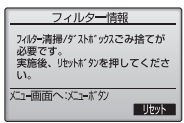
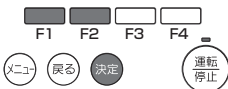
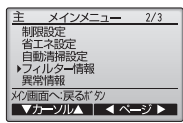
- ワイヤードリモコンの場合は  表示を点灯させて清掃時期をお知らせします。（ワイヤレスリモコンの場合は表示されません。）
- フィルター清掃時期は室内ユニットにより異なります。

室内ユニット	運転時間
PLFY-DM形	2500時間



表示をリセットする

- 1 『フィルター情報』を表示します。
- 2 F4 ボタン⑤を押す。
- 3 F4 ボタン⑤を押す。
- 4 完了画面が表示されます。



- 必ずフィルター清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
- 2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットの代表機種（親機）がフィルター清掃時期となった時に“フィルター清掃”が表示されます（ロングライフフィルター：2500時間、一般フィルター：100時間）。表示を消すと全てのユニットの運転時間がリセットされます。
※親機とは、同一グループの中で最もM-NETアドレスの小さい室内ユニットを示します。
- 運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

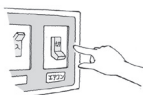
- 1 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

- 不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。



- 2 エアコンの電源を切る。

- 電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。



再度使い始めるとき

- 下記作業 1～4 の点検を行い、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

- 1 フィルターを清掃して、取付ける。



- 2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。



- 3 アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。



- 4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



- 5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。（電源を入れる場合は、必ず外気温度が-20℃より高い条件で実施ください。）

⚠ 注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

長期間ご使用にならないとき
お手入れのしかた

移設・廃棄について

警告

据付や移設などの場合は冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

警告

当社指定の冷媒(R410A)以外は絶対に封入しない

- 法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

■ 増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。


この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。
 ■ フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
 ■ この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要です。必ず専門の回収業者に依頼してください。

1) この製品は、地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。

2) 冷媒の種類およびGWP(地球温暖化係数)は下表になります。

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R410A	2090

3) 本気が接続されているシステム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示されています。



この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることをご認識いただくための表示です。エアコンの取り外し時は、フロン類の回収が必要です。

据付場所について

注意

- 可燃性ガスの洩れるおそれのある場所には据付けない。万一ガスが洩れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

次の場所への使用は避けてください。

- 可燃性ガスの洩れるおそれがあるところ
- 炎の近くや溶接時のスパッターなどの火の粉が飛び散るところ。
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ(温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など)
熱交換器(アルミフィン、銅パイプ)などに腐食を起こすおそれがあります。
- 機械油を使用するところ(加工油を用いプレスや切削をする機械工場など)
プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。
- 車輦・船舶など移動するものへの設置

次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。(室内ユニット)

- 食用油を使用するところ(厨房など)
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。
 - 湿気の多いところ
冷房時に結露しやすくなります。
 - 高周波を発生する機械(高周波ウェルダ、医療機器、通信機器など)を使用するところ
通信異常やマイコン誤動作のおそれがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。
 - 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ(美容室など)
臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。
- 海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意(室外ユニット)**
- 海浜地区等塩分の多いところ
使用を避けるか、耐塩害/耐重塩害仕様室外ユニット(受注品)をお求めください。
 - 積雪の多いところ
室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。(別売として用意しています。)
- 室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

注意

- アース工事を行う。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。
アース工事に不備があると、感電の原因になります。
- 据付場所(水気のある場所など)によっては、漏電遮断機を取付ける。
漏電遮断機が取付けられていないと、感電の原因になります。

- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
- 電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
- ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

- 据付けにあたっては、エアコンの質量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。
- 室外ユニットの吹出口からの冷風風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。
- 室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。
性能低下や運転音増大のもとになります。

- 「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
- お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(26ページ参照)へお問い合わせください。
- エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に完了したことをサービスマンに確認してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証書

- 室外ユニットに保証書を添付しております。セットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 内容をよくお読みのおと、大切に保存してください。
- 保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- “「故障かな？」と思ったら”(16・17ページ参照)に従ってお調べください。なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。
- 保証期間中は修理に際して、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
 - 保証期間が過ぎていたときは修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。修理料金は、技術料+部品代+(出張料)などで構成されています。
 - ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室外ユニットは、保証書に記入してあります。室内ユニットは、室内製品銘板に記入してあります。
3.お買上げ日	〇〇年〇月〇日
4.故障の状況	できるだけ詳しく (リモコンのエラー表示記号なども)
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。さらに補助電気ヒーター付き機種は、ヒーターにゴミやホコリなどが付着して発煙に至ることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
- 点検と保全周期の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
センサー (サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
ドレンパン		8年
補助電気ヒーター		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。

- ① 頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
(機種によりこととなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
 - ② 製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。
(氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)
- また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- ① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
 - ② 電源変動(電圧、周波数、波形歪みなど)が大きい場所でご使用される場合(許容範囲外での使用はできません。)
 - ③ 振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
 - ④ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
 - ⑤ 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。(24時間空調など)

■ 消耗部品の交換周期目安【交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】


●表2.「交換周期」の一覧


主要部品名	点検周期	交換周期	
ロングライフフィルター	1年	5年	
高性能フィルター		1年	
ファンベルト		5,000時間	
平滑コンデンサー		10年	
ヒューズ		10年	
加湿エレメント		3年	
クランクケースヒーター		8年	
オイルフィルターエレメント		随時	油が垂れる前に交換

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。

修理窓口・ご相談窓口のご案内 (冷熱品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ
 お買上げ先へご依頼できない場合は

修理のお問い合わせは

修理窓口 へ

その他のお問い合わせは

ご相談窓口 へ

- お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
 三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
- お問合わせ (ご依頼) いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 - 上記利用目的のために、お問合わせ (ご依頼) 内容の記録を残すことがあります。
 - あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - 法令等の定める規定に基づく場合。
 - 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間 (三菱電機ビルテクノサービス株式会社)

インターネット受付 www.meltec.co.jp

北海道地区

道央地区
 北海道冷熱サービスコールセンター
 電話 (011) 862-1180 ファックス (011) 862-9497
 札幌市白石区本通 20丁目南 4-2

旭川 (0166) 25-1800 帯広 (0155) 24-1669
 旭川市4条通 9-1703 (旭川北洋ビル6階) 帯広市西3条 9-1 (帯広経済センタービル4階)

函館 (0138) 51-8699
 函館市五稜郭町 1-14 (住友生命五稜郭ビル6階)

首都圏 冷熱サービスコールセンター

東京都・山梨県・神奈川県・千葉県・茨城県
 埼玉県・群馬県・栃木県・長野県・新潟県
 静岡県東部 (富士川以東)

電話 (0570) 783-194 ファックス (03) 3803-5290
 東京都荒川区荒川 7-19-1 (システムプラザB館)

中国 冷熱サービスコールセンター

広島県・岡山県・鳥取県・島根県・山口県

電話 (082) 291-1194 ファックス (082) 503-2417
 広島市西区南観音 8-14-21 (中国資材センター内)

東北地区

宮城県・山形県
 東北冷熱サービスコールセンター
 電話 (022) 224-1330 ファックス (022) 224-1343
 仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)

青森 (017) 722-7718 秋田 (018) 836-7880
 青森市長島 2-10-4 (ヤマビル5階) 秋田市中通 2-3-8 (アトリオンビル8階)

八戸 (0178) 45-7289 郡山 (024) 922-8959
 八戸市八日町 36 (第一ビル5階) 郡山市駅前2-11-1 (ビッグアイ内)

盛岡 (019) 653-3732 いわき (0246) 24-2120
 盛岡市菜園 1-3-6 (農林会館6階) いわき市平字町田120 (LATOV内)

中部 冷熱サービスコールセンター

愛知県・岐阜県・三重県・静岡県西部 (富士川以西)

電話 (052) 583-1194 ファックス (052) 583-1193
 名古屋市中央区名駅 1-1-4 (JRセントラルタワーズビル内)

九州地区

福岡県・佐賀県
 九州冷熱サービスコールセンター
 電話 (092) 471-1194 ファックス (092) 474-8298
 福岡市博多区豊 1-9-71 (九州資材センター内)

北陸 冷熱サービスコールセンター

石川県・富山県・福井県

電話 (076) 224-1194 ファックス (076) 233-6205
 金沢市広岡 3-1-1 (金沢パークビル)

北九州 (093) 551-2937 熊本 (096) 356-6231
 北九州小倉北区浅野3-8-1 (アジア太平洋インポートマート内) 熊本市花畑町 9-24 (住友生命熊本ビル2階)

久留米 (0942) 34-6730 大分 (097) 537-7191
 久留米市日吉町 16-18 (久留米センタービル内) 大分市中央町 1-1-5 (大分第一生命ビル3階)

長崎 (095) 826-8301 宮崎 (0985) 23-3883
 長崎市万才町 3-5 (朝日生命長崎ビル7階) 宮崎市高千穂通 2-5-32 (日本生命宮崎駅前ビル9階)

佐世保 (0956) 24-7718 鹿児島 (099) 226-1912
 佐世保市松浦町2-21 (九十九島ビル内) 鹿児島市東千石町 1-38 (鹿児島商工会議所ビル)

沖縄 (098) 866-1175
 那覇市久茂地 1-3-1 (久茂地セントラルビル)

関西・四国 冷熱サービスコールセンター

大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県・兵庫県
 香川県・愛媛県・高知県・徳島県

電話 (06) 6391-8531 ファックス (06) 6391-8545
 大阪市淀川区三国本町 1-3-4

修理窓口 電話受付：365日 24時間 (三菱電機システムサービス株式会社)


●三菱電機修理受付センター


フリーダイヤル
 **0120-56-8634** (無料)
 インターネット
 www.meltec.co.jp

携帯電話サイト
 空メールの送り先：fc8634@meltec.co.jp
 またはバーコードからアクセス。
 URLをメール返信します。




携帯電話・PHSの場合

 **TEL 0570-01-8634** (有料)

 **FAX 0570-03-8634** (有料)

ご相談窓口 (三菱電機株式会社)

三菱電機空調ワンコールシステム
 家庭用ルームエアコンおよび、店舗・事務所・ビルなどに設置する業務用エアコンに関するお問い合わせは


 **0120-9-24365** (無料)
 空調 24時間365日

■技術相談 平日 9:00~19:00
 土・日・祝 9:00~17:00

■修理依頼 365日・24時間受付


■サービス部品の相談 365日・24時間受付

三菱電機冷熱相談センター
 三菱電機冷熱製品に関する技術内容全般についてのご相談は

 **0037-80-2224** (無料)

<携帯電話・PHS・IP電話の場合> 073-427-2224 (有料)

■電話 平日 9:00~19:00
 土・日・祝 9:00~17:00

■ファックス 365日・24時間受付  0037-80-2229 (無料)
 <IP電話の場合> 073-428-2229 (有料)

※IP電話回線経由の場合に、フリーボイスに接続できないことがあります。その際は、「IP電話の場合」の電話番号におかけください。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
 ●電話番号をお確かめのうえ、お間違のないようにおかけください。


仕様

室内ユニット仕様表 ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

※電気特性は製品に貼付してあります製品銘板に記入してあります。

●PLFY-P・DMG3形

50/60Hz

形名		22形	28形	36形	45形
冷房能力 kW		2.2	2.8	3.6	4.5
暖房能力 kW		2.5	3.2	4.0	5.0
電源		単相200V 50/60Hz			
リモコン表示	騒音(PWL) dB	59-53-49		59-56-53	61-56-53
	風量 m³/min	10-9-8		10-9-8	11-9-8
補助ヒータ kW		---			
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm		265×570×570			
質量(本体+パネル) kg		15.5+2.5		17+2.5	

●「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機器の点検について

冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、本製品を所有されているお客様ご自身による簡易点検が義務づけられています。目視による外観点検を3か月に1回以上実施し、記録することが定められています。お客様ご自身での点検が難しい場合や、点検で漏えいや異常があった場合は、専門業者による点検をお願いします。詳細は下記のサイトをご覧ください。

JARAC 一般社団法人 日本空調設備工業連合会 <http://www.jarac.or.jp/>

点検頻度	点検方法	点検項目
3か月に1回以上	お客様(=所有者様)による目視での外観点検	機器からの異常音、機器の外観損傷・摩耗・腐食・さび・油漏れ、熱交換器への霜の付着

● JRA * GL-14 「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）(いずれも有償)をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA：社団法人 日本冷凍空調工業会

・JRA GL-14 について、<http://www.jraia.or.jp/index.html>

・フロン漏えい点検制度について、<http://www.jarac.or.jp/roei/>

様式 1 冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）

年 月 日 ~ 年 月 日

管理番号

施設所有者				設備製造者						
施設名称			系統名	設置年月日						
施設所在地			電話	使用機器		型式	製品区分			
運転管理責任者			電話			製番	設置方式	現地施工		
点検事業者	会社名		責任者		用途	空調用		検知装置		
	所在地		電話		合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数 (%)		
使用冷媒	R410A	初期充填量 (kg)	点検周期	基準	実績 (月)	冷媒量 (kg)				
作業年月日	点検理由	充填量 (kg)	回収量 (kg)	監視・検知手段 (最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録 No.	チェックリスト No.	確認者

愛情点検



●長年ご使用のエアコンは点検を!

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

お買上げ販売店名

電話() -

お買上げ(据付)日

年 月 日



省エネで 守る環境 豊かな暮らし